

2021年12月28日

ハワイ州観光局

【ニュースリリース】

ハワイ州観光局、第5回「ハワイ旅行意識調査」(2021年10月～11月)

ハワイ州観光局(所在地:東京都千代田区 日本支局長:ミツエ・ヴァーレイ)は、コロナ禍におけるハワイへの旅行意識を明らかにするため、ハワイ州観光局が保有するデータベースを基に全国の男女14,595人を対象に、2021年10月15日(金)から11月8日(月)までの期間において、第5回目となる「ハワイ旅行意識調査」をインターネットにて実施し、本調査の結果を発表しました。調査対象は、回答者全体の91%にハワイ渡航経験があり、54%がハワイ渡航回数5回以上のリピーターです。

調査結果のポイント:

- 「コロナ収束後、国内旅行より海外旅行をしたい」と答えたのは全体の73%(前回調査より10.3%減)、そのうち64%が「ハワイ旅行を希望」し、39%が「すぐにでもハワイ旅行がしたい」と回答しています。
- ハワイ島内での渡航先(複数回答)は「オアフ島」が全体の86.8%を占め、次いで「ハワイ島」で51.9%。
- ハワイ旅行の消費額は「10万円以上」が39.4%、「20万円以上」が26.9%。
- ハワイ旅行への同伴者(複数回答)は、「配偶者・恋人」が56.3%、「二世帯家族(親子)」が54%、「友人(2~3人)」が30.6%。
- 約70%以上の回答者が、「ハワイでのんびり過ごす」、「ショッピング」、「観光」を選択している。
- 日本帰国後14日間の自己隔離が障害になると考える層が多いものの、前回調査と比較すると「隔離期間があっても旅行する」と回答した人が4.7%増加し、海外旅行への意欲が向上していると考えられます。
- ハワイ旅行の予約方法で最も多いのは「個人手配」で全体の41.7%(前回調査より6.5%減)、「旅行会社のフリープラン(店頭申し込み)」が17.5%(前回調査より0.9%増)、「旅行会社のフリープラン(WEB申し込み)」が18.2%(前回調査より2.1%増)。
- 安全なハワイ旅行のために必要な情報と対策は、「ハワイの最新感染状況」、「ハワイの衛生環境への対応と取り組み状況」、「ハワイの新型コロナウイルス対策・ガイドライン」、「ハワイの医療体制情報」が上位を占めています。

【ハワイ旅行意識調査 概要】

調査期間： 2021年10月15日（金）～11月8日（月）

調査対象： ハワイ州観光局が保有するデータベースの全国の男女（主にハワイリピーター）

有効回答数： 14,595名

調査方法： インターネット調査

調査目的： コロナ禍におけるハワイへの旅行意識を明らかにする

第1回調査（2020年4月17日～5月30日：有効回答数11,705）、第2回調査（2020年6月1日～7月15日：有効回答数10,002）、第3回調査（2020年7月31日～8月31日：有効回答数34,554）、第4回調査（2020年10月30日～11月30日：有効回答数7,912）

※ 第5回「ハワイ旅行意識調査」の詳細は下記 URL よりダウンロードできます。

<https://www.allhawaii.jp/business/article/media/509/>

###

ハワイ州観光局日本支局（Hawaii Tourism Japan）

ハワイ州観光局日本支局は、ハワイ州の観光振興機関「ハワイ・ツーリズム・オーソリティ」から委託を請け、ホノルルと東京にオフィスを設置し、ハワイ州最大の国際マーケットである日本市場を対象に、ハワイのブランド価値を高めるためのマーケティング戦略を立案、デスティネーション・キャンペーン、広報活動、市場分析、パートナーシップ開発、教育プログラム構築など、日本の消費者、メディア、旅行業界、MICE 市場など広範囲にわたって信頼と共感を呼ぶ活動を実施しています。また、持続可能な観光を目指すために「マラマハワイ＝思いやる心」の概念を啓蒙し、ハワイの自然保全と文化継承に繋がるプログラムの開発を促進して旅行体験の多様化を目指し、日本とハワイの交流を深める活動も支援しています。公式ポータルサイト：<https://www.allhawaii.jp>

本件に関する報道関係者からの問い合わせ先

ハワイ州観光局 広報チーム prhtj@htjapan.jp